



✓内容

1. カリキュラムの全体像について
2. 卒業要件および国家試験受験資格について
3. 履修に関する注意点について
4. 実習の時期と履修要件について
5. 成績表の確認にあたって
6. 保護者の皆様へ



✓看護学科の教育目的

看護師として必要な専門知識と実践能力を身につけ、
他の医療関係職種と連携・協働して、
地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することの
できる人材の育成

✓カリキュラムの全体像（新カリキュラム）

1. 共通基盤教育

大学での学修や卒業後の
社会生活に必要な教養

導入系
倫理系
人文社会系
健康・スポーツ系
英語基礎系
言語応用系
数理情報系

2-1. 専門基礎導入

基礎的な知識の習得と科学的な見方・考え方に必要な科目

*看護のための数学基礎
*看護のための生物・化学基礎
*看護のための人間工学 など

2-2 専門基礎科目

健康・疾病・障害に関する観察力や判断力を修得するための科目

*人体の構造機能・疾病と回復促進
*健康支援と社会保障制度

3. 専門科目

看護師として必要な専門的知識と能力を学修する科目

*看護の基本
*地域における看護活動
*人間の発達段階と看護活動
*看護研究
*公衆衛生看護学

✓卒業要件および国家試験受験資格①

■看護師国家試験受験資格

4年以上在籍し、**124単位**を修得すること

■保健師国家試験受験資格

2021年度生以前：4年以上在籍し124単位を満たし指定科目を含んだ合計**133単位**を修得すること

2022年度生以降：4年以上在籍し124単位を満たし指定科目を含んだ合計**136単位**を修得すること



✓卒業要件および国家試験受験資格②

■2022年度生以降

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	17
	倫理系	必修	2	
	人文社会系	必修	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	2	
	言語応用系	必修	5	
	数理情報系	必修	2	
		選択	2	
専門基礎導入・ 専門基礎教育科目	専門基礎導入	必修	4	29
	人体の構造機能・疾病と回復促進	必修	19	
	健康支援と社会保障制度	必修	5	
		選択	1	
専門科目	看護の基本	必修	14	78
	地域における看護活動	必修	7	
	人間の発達段階と看護活動	必修	51	
	看護研究	必修	3	
	公衆衛生看護学	必修	1	
		選択	2	



■2019年度生～2021年度生

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	17
	人文社会系	必修	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	2	
	言語応用系	必修	5	
	数理情報系	必修	2	
		選択	4	
専門基礎導入・ 専門基礎	人体の構造機能・疾病と回復促進	必修	19	29
	健康支援と社会保障制度	必修	6	
		選択	4	
専門教育	看護の基本	必修	16	78
	人間の発達段階と看護活動	必修	38	
	看護の統合と発展	必修	15	
	看護研究	必修	4	
	公衆衛生看護学	必修	1	
		選択	4	

✓カリキュラムの積み上げ

共通基盤・基礎導入・
専門基礎科目

看護の基本
基礎看護学・看護のための人間工学

看護の統合・発展
看護研究



人間の発達段階看護活動
成人・小児・母性・老年・精神看護学

専門科目

7

✓科目の種類と1単位の基準数

講義科目…100分授業14回で2単位（7回で1単位）

※授業外学修…予習（事前学修）と復習（事後学修）にそれぞれ100分程度の学修が期待される

演習科目…100分授業14回で1単位

※授業外学修…予習（事前学修）と復習（事後学修）にそれぞれ50分程度の学修が期待される

臨地実習…臨地45時間で1単位

※1週間（1日9時間、月～金の5日間）
※授業外学修15時間～20時間が期待される

※自ら積極的に授業外学修を行うことが必要！！

✓単位認定資格について

●講義・演習の場合

授業回数の2/3以上出席していること

●実習の場合

実習日数の4/5以上出席していること

✓出席管理・単位管理は学生の責任です

●学生への指導内容

- ◆ カードリーダーのタッチを確実に行ってください。
- ◆ KAIT Walker から毎日出席状況を確認してください。
- ◆ 体調不良や諸事情により、止むを得ず授業・試験・大学行事などを欠席する場合、早急に科目責任者、担任にメールで連絡をし、その後の対応について指示をうけてください。

カードリーダーによる出席状況により、試験受験資格の有無を判断されます

保護者ポータルサイトから、出席状況を確認することができます

✓履修に関する注意点

- ① 単位未修得科目は下位年次配当科目から履修する。
- ② 同曜日、同時限では1科目の受講しか認められない。
1コマでも不合格科目の再履修と重複する場合は、履修を認めない。
(履修規程第7条)
- ③ 不合格となった必修科目はその翌年に再履修しなければならない。
新たに履修を希望する科目と再履修必修科目が時間割上、重複する場合は再履修必修科目を優先して受講すること
- ④ 1年次・2年次開講の必修科目の単位をすべて修得していなければ、3年次の科目を履修することはできない。



✓実習の時期と履修要件

看護
師

- ・早期体験実習 : 1年前期 (新カリキュラム)
- ・基礎看護学実習 : 2年前期 (新カリキュラム)
- ・老年看護学実習 I・小児看護学実習 I : 2年生前期 (新カリキュラム)
- ・各専門領域実習 : 3年生後期～4年生前期
- ・看護統合実習 : 4年生後期 (新カリキュラムは4年生前期)

保健
師

- ・産業・学校看護学実習 : 4年前期
- ・公衆衛生看護学実習 : 4年生後期

※各実習には履修要件があります。

要件となる科目が修得できていないと履修資格はありません。



✓ GPA

GPA制度（Grade Point Average）

- ◎ 単位数は成績の学修量を、GPAは成績の質を表わす。
- ◎ GPAの算式（不合格科目が多いとGPAは下がります）
合格科目の単位数に
 $S = 4 \quad A = 3 \quad B = 2 \quad C = 1 \quad E \cdot X \cdot D = 0$ の加重点をかけ
総履修単位数で割った数値
- ◎ GPAの活用
学科別・年次別各種成績表彰
保健師課程の選考、就職推薦枠の選考 等

▶ 良い成績で単位を修得することが大切！！

✓ 保護者の皆様へ

- ◎ 看護師国家試験の受験資格を得る（卒業要件を満たす）
ためには、沢山の学習が必要となります。
- ◎ 看護師になるためには、知識・技術だけでなく態度も重要となります。

学生が学業に専念できる支援（体調管理・経済的支援など）
自律性・主体性を育む支援

保護者の皆様とともに支援していきたいと考えております
何卒よろしくお願いいたします